

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1440019		障害児研究 (Study on Special Education)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	2	3	教育学部			氏名 古賀精治・衛藤裕司・古長治基 E-mail skoga@oita-u.ac.jp, eto@oita-u.ac.jp, h-kocho@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	特別支援学校において行われる教育研究の概要・方法について学ぶ。学校における教育研究の位置づけを学んだ後、発表・公表されている教育研究の調査を行い、教育研究レポートの書き方について学ぶ。同時に、教育研究を行う上での倫理についても学ぶ。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 特別支援学校で行われる教育研究について、その位置づけ・校内体制について説明できる。																	
目標2 特別支援教育に関する教育研究の情報を幅広く収集できる。																	
目標3 特別支援教育における研究レポートの書き方に沿った記述が出来る。																	
目標4 特別支援学校において行う教育研究の倫理について説明できる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 特別なニーズのある子ども達のための教育研究の意義																	
2 特別なニーズのある子ども達のための教育研究の位置づけ(学校の教育目標との関連、文科省・県の研究開発学校・研究指定校制)																	
3 特別なニーズのある子ども達のための教育研究の位置づけ(学校における研究体制と研究部・個人研究)																	
4 特別なニーズのある子ども達のための教育研究1(文献の収集:特別支援学校内、県内の特別支援教育関連機関、CiNii論文情報ナビゲータ)																	
5 特別なニーズのある子ども達のための教育研究2(研究方法:実験的研究法、事例研究法、調査)																	
6 特別なニーズのある子ども達の国策的研究(文科省、国立特別支援教育総合総合研究所)																	
7 特別なニーズのある子ども達のための教育研究レポートの始め方																	
8 特別なニーズのある子ども達のための教育研究レポートのスタイルと表現形式																	
9 特別なニーズのある子ども達のための教育研究レポートの書き方の各部分の書き方																	
10 特別なニーズのある子ども達のためのデータの分析・解釈・報告																	
11 特別支援教育に関する県内の研究会(大分県教育センター、附属特別支援学校)																	
12 特別支援教育に関する学会(日本特殊教育学会他)																	
13 特別なニーズのある子ども達のための教育研究における倫理1:研究における倫理																	
14 特別なニーズのある子ども達のための教育研究における倫理2:具体的課題																	
15 教育研究の実践例																	
ラック	A:知識の定着・確認	ディスカッションなど参加者が主体的に意見を述べ、議論する機会を設ける。					工夫	学会誌等からの情報収集									
ニテ	B:意見の表現・交換						その										
ンイ	C:応用志向						他の										
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	指定された文献を収集し、読んでおくこと。指定された内容に関するレジメを作成しておくこと(15h)。															
	事後学修	講義時間に指摘された内容をまとめ、理解を深めておくこと(15h)。															
教科書	教科書は指定しない。																
参考書	参考書・参考資料等 1 「障害児教育の研究法」, 田研出版, 1995年, D.M. マーテンズ他著 中野善達・佐藤至英訳 2 「実践障害児教育」月刊 学習研究社																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	発表・議論への参加	50%															
	課題レポート	50%															
注意事項	授業の内容上、特別支援教育コースの学生に限る。																
備考	なし。																
リンク																	
	URL																